



## 当ファンドの足元の運用状況

### ポイント

- ① 設定来ではやや苦戦が続いたトレンドフォロー型運用
- ② 様々な資産におけるトレンドの反転などが重石に
- ③ トレンド戦略（米国籍）の中長期リターンは安定

## ① 設定来ではやや苦戦が続いたトレンドフォロー型運用

### 相場に順張りするトレンドフォロー型運用

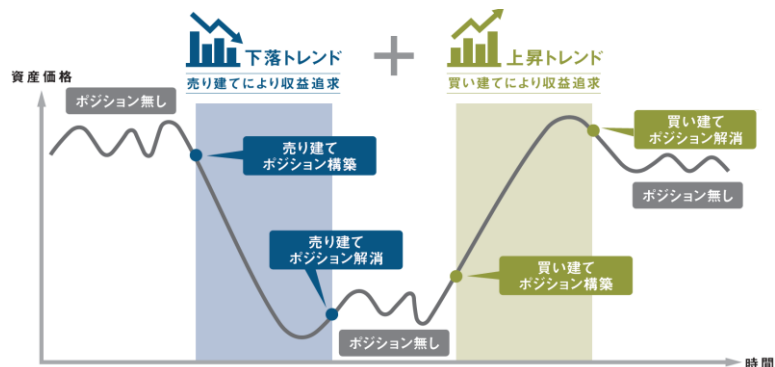
トレンド戦略が行なうトレンドフォロー型運用は、金融市場のトレンド（相場の流れ）に追随することで収益の獲得を目指す運用手法です。投資対象資産の価格が上昇基調なら買いを、下落基調なら売りを行なう順張り投資を実行します。このことから、特に強いトレンドが発生する局面では、大きな収益を獲得する傾向が見られる一方で、トレンドが反転する局面や、明確なトレンドが発生しない、あるいはすぐに消えてしまう局面においては、収益を獲得しづらい傾向が見られます。

### トレンドの反転が設定来の苦戦の背景

昨年12月に運用を開始したトレンド戦略は、市場のトレンドが急反転したり、トレンドが長く継続せず反転したりするなど、収益が獲得しづらい環境が続く中、設定来で上値の重い展開となりました。

トレンド戦略では、相場の転換をより早い段階で察知することでリスクオフ局面等で堅調なリターンを獲得できるよう、主に短期の値動きで見たトレンドをもとにポジションを構築します。しかし、設定来では短期間で値動きが上下し、トレンドが反転してしまったことなどから、構築したポジションがマイナスに影響しました。

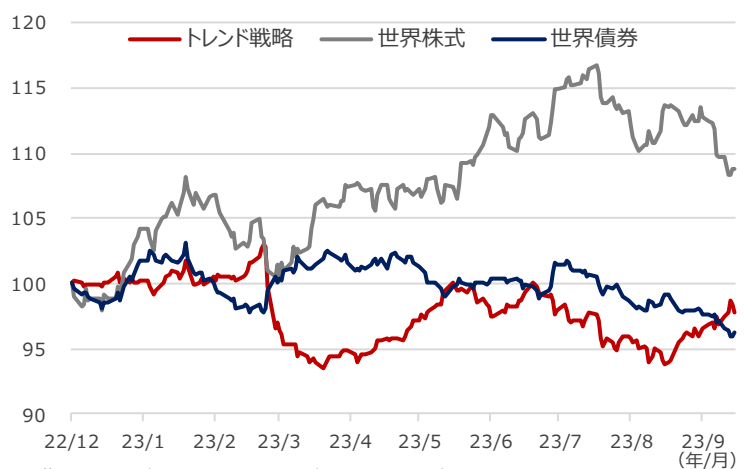
### トレンドフォロー型運用のイメージ



ポジション：先物取引などで売買を行ない決済していないもの、またはその状態。  
 売り建て：資産価格の値上がりではなく、価格が下がることで利益となる取引のこと。将来的に値下がりすると判断した資産を売却し、値下がった時点で買い戻して収益を上げる投資手法。  
 買い建て：資産価格が上がることによって利益となる取引のこと。将来的に値上がりすると判断した資産を買って、値上がりした時点で売って収益を上げる投資手法。

上記はイメージ図であり、全てを網羅するものではありません。将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 (出所) PIMCO作成

### トレンド戦略：設定来の運用実績



期間：2022年12月15日～2023年9月29日、日次  
 2022年12月15日（トレンド戦略の設定日）を100として指数化。  
 注：トレンド戦略、世界株式、世界債券については、4ページをご参照ください。各指数はファンドのベンチマークではありません。  
 (出所) PIMCO、ブルームバーグのデータを基にPIMCO作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## ② 様々な資産におけるトレンドの反転などが重石に

### 3月の下落要因の事例： 米国3カ月物金利のトレンド急反転

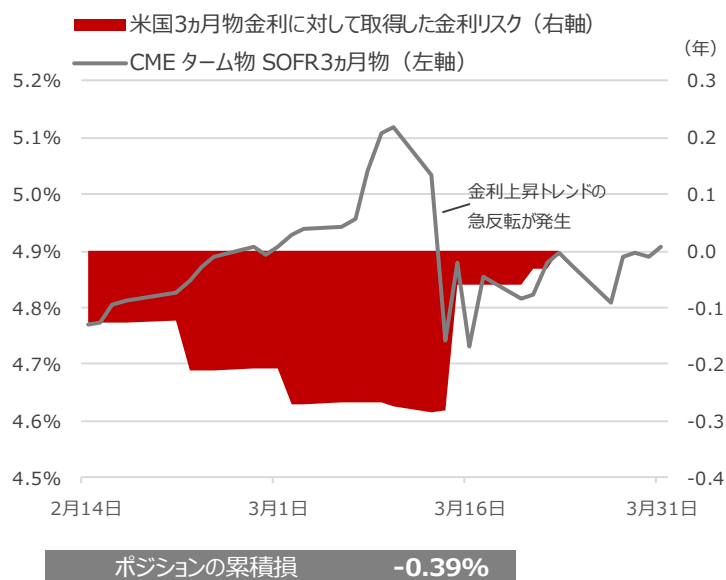
設定来では、トレンド戦略の下落幅が拡大する局面が、3月と7～8月の2回発生しました。3月の下落要因の一例として、米地銀の破綻をきっかけに米国3カ月物金利のトレンドが急反転したことが挙げられます。米国3カ月物金利はFRB（米連邦準備制度理事会）による利上げが継続するとの見通しのもと、3月前半まで上昇トレンドが続いていました。トレンド戦略では同トレンドに合わせて金利のショート（売り持ち）ポジションを構築していましたが、米地銀の破綻をきっかけに利上げ停止観測が高まり、金利が急速に低下したことで同ポジションがマイナスに影響しました。その他、様々な国の株式や金利で同様にトレンドの急反転が発生し、米地銀の破綻前までのトレンドに合わせて構築していたポジションの多くがマイナスに影響しました。

### 7～8月の下落要因の事例： 中国株式指数の短期間でトレンド反転

7月から8月にかけては、各国の景気動向や当局の政策を見極めるべく、金融市場はより敏感な動きとなりやすい環境が続きました。このような中、トレンドが長く継続せずに反転してしまうことで収益を獲得しづらい局面が中国株式指数などで見られたことなどによりマイナスが発生しました。中国株式では、同国の景気減速が意識されていた中、7月下旬には当局による景気刺激策への期待を受け株価上昇が見られた一方、8月中旬以降は不動産開発企業のデフォルト（債務不履行）懸念を受けた急落が発生するなど、短期間でトレンドが反転する動きが見られました。トレンド戦略ではこの価格の動きを追いかけて、買い持ち・売り持ちのポジションの転換を繰り返し、損失が積み上がる結果となりました。

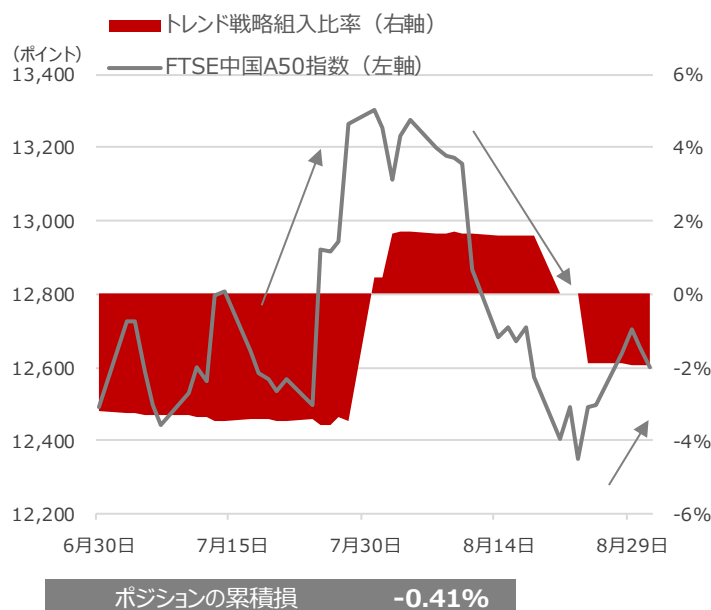
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### トレンドの急反転による損失事例 2023年3月：米国3カ月物金利



期間：2023年2月14日～2023年3月31日、日次  
取得金利リスクはトレンド戦略のデータを使用。金利リスクのマイナス表記はショートを表しています。  
注：トレンド戦略については、4ページをご参照ください。  
（出所）PIMCO、ブルームバーグのデータを基にPIMCO作成

### 短期間でトレンド反転による損失事例 2023年7～8月：中国株式指数



期間：2023年6月30日～2023年8月31日、日次  
トレンド戦略組入比率はトレンド戦略のデータを使用。組入比率のマイナス表記はショートを表しています。  
注：トレンド戦略については、4ページをご参照ください。  
（出所）PIMCO、ブルームバーグのデータを基にPIMCO作成

### ③トレンド戦略（米国籍）の中長期リターンは安定

#### 中期のリターンは安定する傾向

トレンド戦略は設定来で苦戦したものの、同様の運用体制・方針を持つ2013年設定のトレンド戦略（米国籍）の設定来の実績を振り返ると、中期のリターンは安定する傾向にありました。世界株式と比較すると、1年リターンのばらつきは小さく、また、10%を超える大きなマイナスが発生する回数も相対的に抑制されました。大きなマイナスを抑制してきた背景には、トレンド転換などにより損失が発生したポジションは速やかに解消を行なう一方、トレンドが継続した際にはポジションを継続保有し、利益を大きく伸ばす傾向があるという、当戦略の特徴が挙げられます。

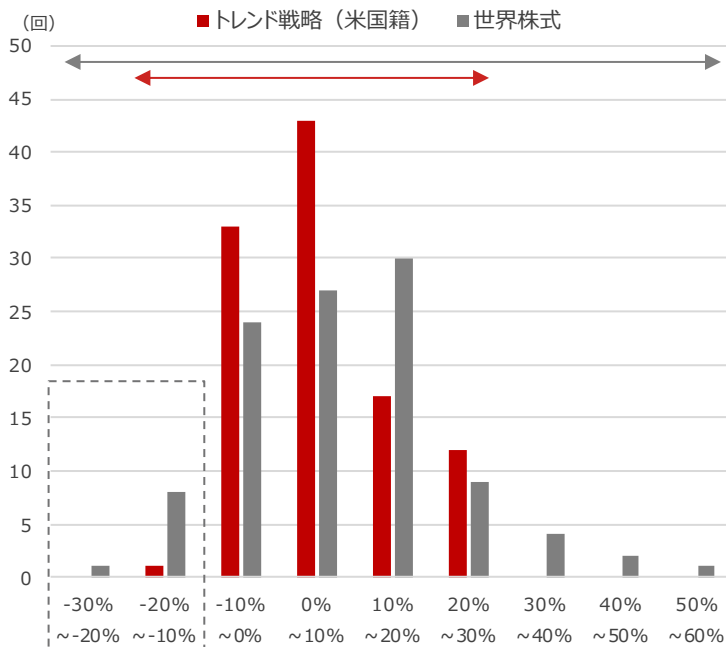
また、運用効率で見ても、トレンド戦略（米国籍）の設定来の長期のリターン効率（リターン/リスク）の実績は0.55と、世界株式の0.48を上回り、効率的にリターンを獲得できました。

#### 長期では良好なリターンを獲得

また、トレンド戦略（米国籍）の設定来の長期の運用実績を見てみると、良好な実績を残しています。

特に直近の数年間においては、2020年のコロナショックや、2022年の各国・地域の中央銀行によるインフレ対応に向けた積極的な金融引き締め等、株式等が大きく下落する局面において、幅広い資産で発生した強いトレンドを早い段階から捉え、良好なリターン獲得につながりました。この良好なリターンには、トレンド戦略が株式や債券など伝統的な資産と異なる値動きとなる特性が表れていると考えられます。

1年リターンの分布（米ドルベース、ローリング）

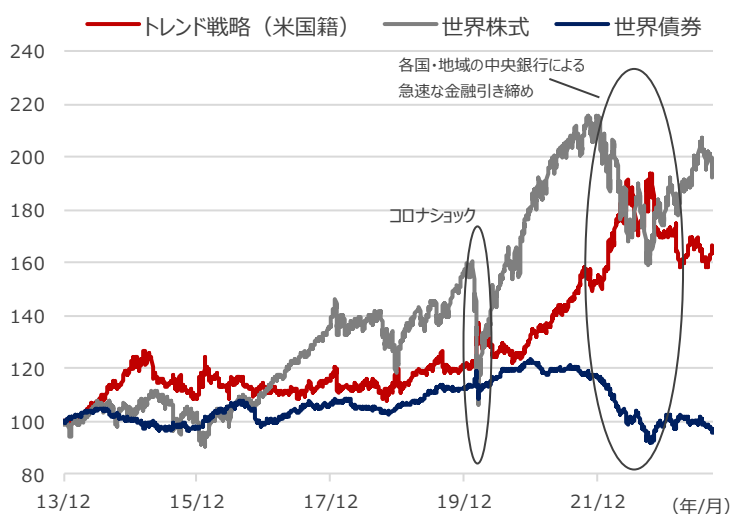


期間：2013年12月末～2023年9月末、月次

注：トレンド戦略（米国籍）、世界株式については、4ページをご参照ください。指数はファンドのベンチマークではありません。

（出所）PIMCO、ブルームバーグのデータを基にPIMCO作成

トレンド戦略（米国籍）：設定来の運用実績



期間：2013年12月31日～2023年9月29日、日次

2013年12月31日を100として指数化。

注：トレンド戦略（米国籍）、世界株式、世界債券については、4ページをご参照ください。各指数はファンドのベンチマークではありません。

（出所）PIMCO、ブルームバーグのデータを基にPIMCO作成

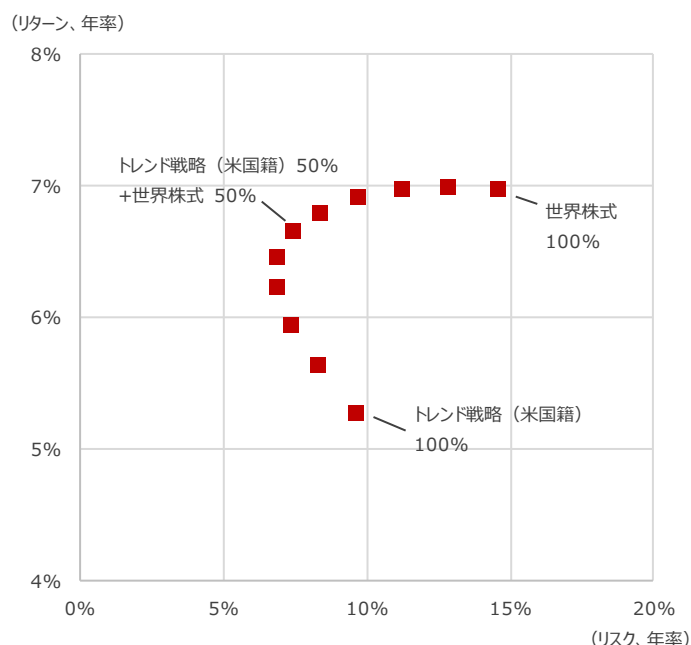
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## ご参考. 他の資産との持ち合わせでリスク低減が期待できる

### 他の資産との持ち合わせで真価を発揮

トレンド戦略は株式や債券などの相関が低い傾向があり、それらと組み合わせた場合には、リターンを一定程度維持しながら、リスクを低減させることが期待できます。実際に、トレンド戦略（米国籍）の設定来の実績で見ると、トレンド戦略（米国籍）と世界株式を50%ずつ組み合わせた場合の年率リスクは7.4%と、世界株式100%の場合の14.6%から大きく低減できています。これは、株式の下落トレンドの際にも、トレンド戦略では発生したトレンドを捉えるポジションを構築し、リターンを獲得できる傾向があるためです。主要国における金融政策や景気の見通しは不透明な状況が続くなか、金融市場の先行きに対しては多様なシナリオを想定することが重要です。市場の上昇シナリオだけでなく、下落シナリオにおいてもリターンの獲得が期待できるトレンド戦略をパーツとして活用することにより、金融市場のシナリオに関わらずに安定したリターンが期待できるポートフォリオが構築できると考えています。

### 株式との持ち合わせによる リスク・リターンの変化（米ドルベース）



期間：2013年12月末～2023年9月末、月次

注：トレンド戦略（米国籍）、世界株式については、下記をご参照ください。指数はファンドのベンチマークではありません。

月次でリバランスをしたと想定して算出、各種手数料等は考慮していません。

(出所) PIMCO、ブルームバーグのデータを基にPIMCO作成

#### <当資料で使用した指数について>

トレンド戦略：PIMCO バミューダ・トラストIV - PIMCO バミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンド（米ドルベース、報酬控除後※）

トレンド戦略（米国籍）：ピムコ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンド（米ドルベース、報酬控除後※）

世界株式：MSCI ACWI Net Total return unhedged USD

世界債券：Bloomberg Global Aggregate Index Unhedged USD

※トレンド戦略、ならびにトレンド戦略（米国籍）のパフォーマンスは、それぞれの報酬控除前のパフォーマンスから当ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬年1.25%を控除して算出しています。

#### <当資料で使用した指数について>

●MSCI ACWI Net Total return unhedged USDはMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「Bloomberg®」は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limitedをはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）の商標およびサービスマークです。ブルームバーグまたはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

#### <トレンド戦略、ならびにトレンド戦略（米国籍）について>

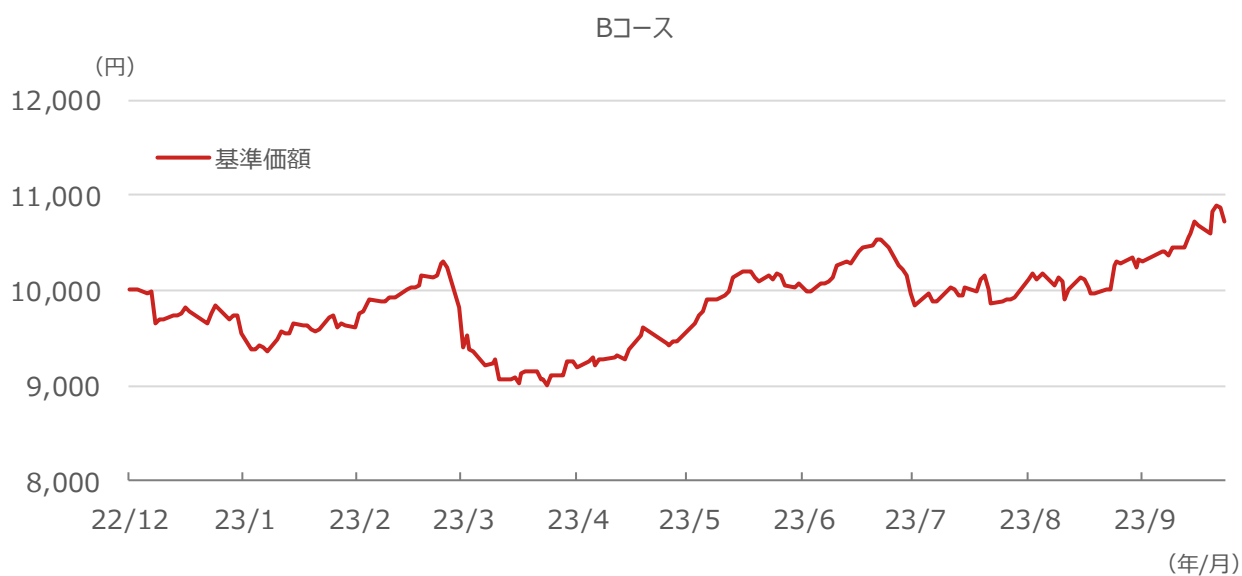
トレンド戦略は、ファンドが投資対象とする外国投資信託であり、また、トレンド戦略（米国籍）は、当ファンドが投資対象とする外国投資信託と同様の運用体制・方針の米国籍同一戦略です。どちらもファンドの運用実績ではありません。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## ファンドの運用状況

### 基準価額の推移

期間：2022年12月14日（設定日）～2023年10月6日、日次



上記期間において分配金実績はありません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 「野村PIMCO・トレンド戦略ファンド」

### 【ファンドの特色】

- 「野村PIMCO・トレンド戦略ファンド」は米ドル売り円買いの為替取引を行なう「Aコース」と対円での為替ヘッジを行なわない「Bコース」から構成されています。また、「Aコース」と「Bコース」間でスイッチングができます。
- 世界各国(新興国を含みます。)の株式、債券、金利、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な主要取引対象<sup>※1</sup>とし、世界各国(新興国を含みます。)の債券<sup>※2</sup>等を実質的な主要投資対象<sup>※1</sup>とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。  
※1「実質的な主要投資(取引)対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資(取引)対象という意味です。  
※2「債券」には国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券、資産担保証券等が含まれます。
- 各々以下の円建ての外国投資信託「PIMCO バミューダ・トラストIVーPIMCO バミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

ファンド名	投資対象
Aコース (米ドル売り円買い <sup>※</sup> )	(外国投資信託)PIMCO バミューダ・トラストIVーPIMCO バミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンドー(円ヘッジ)ーリテールクラス (国内投資信託)野村マネー マザーファンド
Bコース (為替ヘッジなし)	(外国投資信託)PIMCO バミューダ・トラストIVーPIMCO バミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンドー(円ヘッジなし)ーリテールクラス (国内投資信託)野村マネー マザーファンド

※Aコースにおける「米ドル売り円買い」とは、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行なうことをいいます。

- 通常の状態においては、「PIMCO バミューダ・トラストIVーPIMCO バミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンド」への投資を中心とします<sup>※</sup>が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。  
※通常の状態においては、「PIMCOバミューダ・トラストIVーPIMCOバミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

#### ■外国投資信託「PIMCO バミューダ・トラストIVーPIMCO バミューダ・トレンド・マネージド・フューチャーズ・ストラテジー・ファンドー(円ヘッジ)ーリテールクラス／(円ヘッジなし)ーリテールクラス」の主な投資方針について■

- ・世界各国(新興国を含みます。)の株式、債券、金利、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を主要取引対象とし、投資顧問会社が独自に開発した定量モデルを用いたトレーディング戦略の活用によって絶対収益<sup>※</sup>の獲得を目指します。  
※絶対収益とは、特定の市場等の動きに対する超過収益ではなく、投資元本に対する収益を意味します。また「絶対に収益が得られる」という意味ではありません。
- ・定量モデルの活用によって、各市場の上昇トレンドならびに下降トレンドを判断し、資産配分比率を決定します。各市場における取引対象を買い持ち(ロング)または売り持ち(ショート)するポジションを構築し、各市場の上昇トレンドならびに下降トレンドに追随することで絶対収益の獲得を目指します。
- ・当該戦略において用いられる定量モデルは、事前の予告なく、投資顧問会社の裁量によって変更されることがあります。また投資顧問会社の裁量により、定量モデルによって決められた資産配分比率とは異なる資産配分を行なうことがあります。
- ・上記トレーディング戦略の活用のほか、世界各国(新興国を含みます。)の債券(国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券、資産担保証券等)等に投資を行なうことがあります。
- ・(円ヘッジ)ーリテールクラスは、実質的な通貨配分にかかわらず、原則として当該クラスの純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行ないます。(円ヘッジなし)ーリテールクラスは、組入資産について、原則として対円で為替ヘッジを行ないません。

\* 上記は2023年8月10日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

### ●分配の方針

原則、毎年5月および11月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。

\* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式、債券、商品等に関連するデリバティブ取引等を実質的な主要取引対象としますので、株価変動、債券価格変動、商品市況変動等の影響により基準価額が下落することがあります。また、債券等を実質的な主要投資対象としますので、金利変動等による当該債券の価格下落、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により基準価額が下落することがあります。また、為替予約取引等を実質的な主要取引対象としますので、為替の変動の影響により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、代替手法に関するリスク、取引先リスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2032年11月15日まで(2022年12月14日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の毎決算時(原則、5月および11月の15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円) または1万円以上1円単位 (ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。) ※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。スイッチングの方法等は、ご購入、ご換金の場合と同様です。 ※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、お申込日当日が、「ニューヨーク証券取引所」の休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2023年10月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.012%(税抜年0.92%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率* 年2.262%程度(税込) ※ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

《分配金に関する留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

**NOMURA**  
野村證券

お申込みは

商号：野村証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
加入協会：日本証券業協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は

**NOMURA**  
野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



#### 【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

#### 【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。